



注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

MW42

デブリーフィング&データ管理システムSkills Album “ふりかえ朗”

取扱説明書

目次

- はじめに・ご注意 P. 01
- ご使用の前に
構成品の確認 P. 03
利用できるシミュレータ P. 04
操作方法 P. 05
- 準備
“ふりかえ朗”を起動する P. 06
- 標準機能
録画する P. 07
デブリーフィングを行う P. 10
- 追加機能 1 (モニタ付属製品連携)
モニタ表示映像を共有する P. 16
- 追加機能 2 (SCENARIO, Konoha 連携)
起動手順 P. 17
録画する P. 18
デブリーフィングを行う P. 20
- 動画リスト管理
動画リストを開く P. 23
動画をインポート/エクスポートする P. 24
- 設定
カメラ・マイクの設定
保存データ量の確認 P. 25
- 後片づけ
“ふりかえ朗”の終了 P. 26
- トラブルシューティング P. 27



株式会社 京都科学

はじめに

この度は「デブリーフィング&データ管理システムSkills Album “ふりかえ朗”」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

“ふりかえ朗”はシミュレーション教育におけるデブリーフィングに役立つ動画記録を蓄積し、活用するための学習支援システムです。

必ずお読みください

本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また取扱説明書に記載された方法以外でのご使用による万一の破損や事故に関して、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

特 長

- 実習の様子の動画の撮影・行動記録を行い、それらを使用した大画面でのデブリーフィングが可能
- 演習後すぐのグループでのデブリーフィングに
- 撮影した動画や行動記録などは保存可能で、再度デブリーフィングを行うことができます。
- 撮影した動画は外部機器に出力できるため、指導者同士の情報共有や指導方法の検討にもお使いいただけます。

 注意**●装置やモデルに衝撃や圧力を加えないようにしてください。**

モデル本体や機器類などに衝撃を加えないようにしてください。破損の原因になります。

●表面が変色する場合があります。

長期間使用されない場合や経年変化でモデル本体が変色することがありますが、ご使用には差し支えはありません。

●サインペンやボールペンで書き込まないでください。

モデル本体に書き込まれますと、インクが吸収され消えなくなります。

●高温多湿を避けて保管してください。

使用後は、高温多湿の場所や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。変形や変色、故障の原因になります。

●他のソフトウェアをインストールしないでください。

コンピュータに他のソフトウェアをインストールしないでください。誤作動の原因になります。

●コンピュータの終了にはご注意ください。

コンピュータを終了させずに、本体の電源を切られますと故障の原因になります。

●モニタースタンドの取っ手を持って移動してください。

モニターやテーブルを押しての移動は危険です。段差のあるところでは必ず複数人で安全を確認の上移動してください。

●モデルの汚れは乾いた布でふき取ってください。

動作を停止したのち、水または水で薄めた中性洗剤をつけて汚れを取り、乾いた布でふき取ってください。

ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みの上で正しくご使用ください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

■誤ったご使用により生じる危険や損害の程度を表すマークです。

 警告	誤った取り扱い方によって、火傷やケガ、火災や感電の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取り扱い方によって、モデルやパーツの変形、破損が想定される内容を示しています。

■守っていただく事項の種類を表すマークです。

	してはいけない「禁止」の内容です。左図では「分解禁止」を示しています。
	必ず実行して頂く「強制」の内容です。左図では「必ず守る」を示しています。

 警告	
●付属のアダプタ、電源コードをご使用ください ・付属品以外のアダプタやコードを使用されますと、火災や感電の原因となり大変危険です。 ・付属のACアダプタを他の製品に使用しないでください。  故障や火災の原因になります。	●電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、傷つけるなどしないでください  電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください  やけど・ケガ・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。	●指定の電源(日本国内はAC100V)以外では使用しないでください  故障や火災の原因になります。
●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください  感電の原因になります。	●電源プラグは、本体を持ち、確実に抜き差ししてください  コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで火災や感電の原因になります。
●絶対に分解、改造しないでください  火災・感電・ケガの原因になります。修理の際は販売店又は(株)京都科学までお問い合わせください。	●火気類を近づけないでください  本体の変形や変色、電気系統のショートなど火災の原因になります。
異常が起きたら  異臭がするなど異常な状態に気付かれた場合は、速やかに対処いただき、お買い上げの販売店、もしくは(株)京都科学までご連絡ください。	モデル本体や制御ボックス等が熱くなったり、煙が出た時は速やかに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご使用の前に

構成品の確認

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。



- | | |
|--------------------|--------------------|
| a. 大型モニタ……………1 点 | g. スピーカー……………1 点 |
| b. タッチモニタ化機器…1 点 | h. マイク……………1 点 |
| c. タッチペン……………2 点 | i. 三脚……………1 点 |
| d. モニタスタンド…………1 点 | j. ネットワーク機器…………1 式 |
| e. カメラ……………2 点 | k. マウス……………1 点 |
| f. 映像収録用 PC…………1 点 | l. キーボード……………1 点 |

※一部はモニタスタンドにセットされています。

この製品はあらゆるシミュレーション学習時の様子を録画し、行動記録をつけることができます。



■タスク・全身モデル、模擬患者と使う(標準機能)

タスクモデルや全身モデル、模擬患者などを用いてシミュレーション学習を行う場合、“ふりかえ郎”の標準機能として、その様子を“ふりかえ郎”で撮影したり、行動の記録をつけることができます。

■イチローIIA など、モニタ表示を伴うシミュレータと合わせて使う

上記の標準機能に加え、モニタ表示を伴う製品では“ふりかえ郎”と接続することで、シミュレータのモニタ映像も保存することができます。(接続方法>P.16)

“ふりかえ郎”に保存されたモニタ映像は、デブリーフィング時、撮影動画・行動記録と同期した状態で1画面に表示することができ、同時再生による確認が可能です。

■「SCENARIO」「Konoha」と合わせて使う

標準機能に加え、「多職種連携ハイブリッドシミュレータ”SCENARIO”」「周産期全身シミュレータ”Konoha”」を“ふりかえ郎”と連携することで、下記機能をご利用いただけます。

○「SCENARIO」「Konoha」の心電図モニタ映像を“ふりかえ郎”へ保存する

○「SCENARIO」「Konoha」のタブレットで記録した行動履歴を“ふりかえ郎”へ自動共有する

“ふりかえ郎”に保存されたモニタ映像・行動履歴は、デブリーフィング時、撮影動画と同期した状態で1画面に表示することができ、同時再生による確認が可能です。

※お手持ちの「SCENARIO」や「Konoha」との連携をご希望の場合はお問い合わせください。

画面の操作

この製品はモニタ画面をタッチすることで操作することができます。

■ 基本の操作

“ふりかえ朗”のモニタは付属の専用タッチペンで操作することができます。専用タッチペンはモニタに触れるだけで反応します。

圧力で反応が変化することはありませんので、決して専用タッチペンでモニタを強く押したり、モニタを叩かないでください。



注意

大型タッチモニタは上記専用タッチペンでのみタッチ操作が可能です。
指や市販のタッチペンでの操作はできません。

■ 「SCENARIO」「Konoha」連動時の操作

“ふりかえ朗”は別売製品「多職種連携ハイブリッドシミュレータ”SCENARIO”」「周産期全身シミュレータ”Konoha”」と連携することでより効率的にご使用いただけます。(連動時の機能 >P4)

「SCENARIO」「Konoha」を使用しての実習では、録画の開始をそれぞれの操作用タブレットより操作することができます。

録画の開始をタブレットから操作できます



デブリーフィング時の操作は大型モニタで行います



“ふりかえ朗”の起動

“ふりかえ朗”は下記の手順でセットアップしてください。

1. コンセントにプラグを差し込む

“ふりかえ朗”の電源タップのプラグをコンセントに差し込みます。



2. “ふりかえ朗”の電源を付ける

モニタスタンドのテーブルの上に設置されているパソコンの電源ボタンを押し、“ふりかえ朗”を起動します。

自動でソフトウェアが立ち上がるのでそのままお待ちください。



3. カメラ・マイクの接続状況を確認する

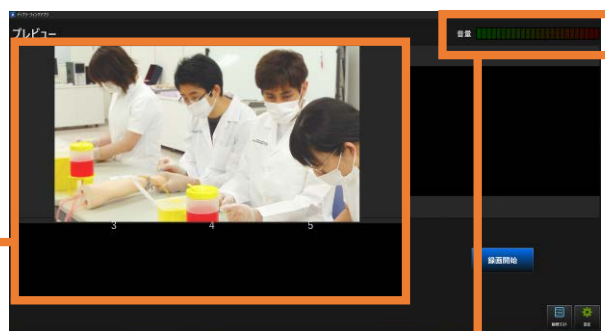
録画開始待ち画面が表示されたら、カメラとマイクの接続が正常か確認します。

カメラ：映像のプレビューが画面に表示されているかご確認ください。

マイク：発声時に画面右上の音量ゲージが反応するかご確認ください。

(カメラ・マイクの設定>P.25)

(カメラ・マイクが動作しない場合>P.28)



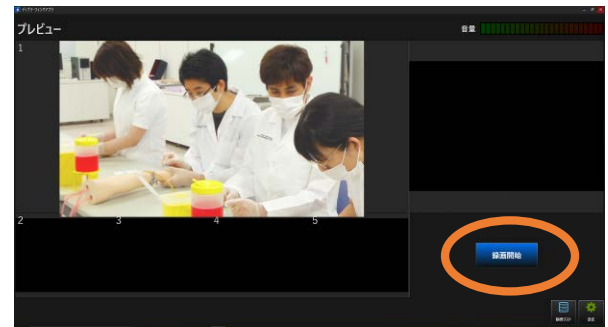
実習の様子を録画する

実習の様子を録画開始方法と、録画中の画面の説明です。

録画を開始する

録画開始待ち画面の右下の「録画開始」ボタンをタッチすることで録画を開始します。

録画はボタンを押すとすぐにはじまります。実習の準備が整ったことを確認してからボタンをタッチしてください。



(A) 映像プレビュー

撮影している映像がリアルタイムで映ります。
2～5 台目のカメラ映像がある場合は下部に縮小表示されます。(カメラの設定 >P.25)

(B) 録画開始からの経過時間

(C) タイミング記録ボタン

ポイントとなるタイミングを記録することができます。(行動の記録 >P. 8)

(D) 記録したタイミングの数

(E) 録画終了ボタン

録画中に学習者の行動を記録する

録画中に、実習の中で学習者の気になる行動があれば、そのタイミングを“ふりかえ朗”に保存することができます。タイミングは何度でも保存でき、デブリーフィング時にタイムラインとして一覧表示することができます。（デブリーフィング画面について >P11）

タイミングを記録する

記録したい行動があれば、画面右下の“タイミングを記録”ボタンをタッチします。

記録されると、「記録しました」という文字が数秒間表示されます。

同一実習中に記録したタイミングの回数はボタン下の表示で知ることができます。



録画の終了とデータ保存

“ふりかえ朗”での録画を終了し、記録したデータを保存します。

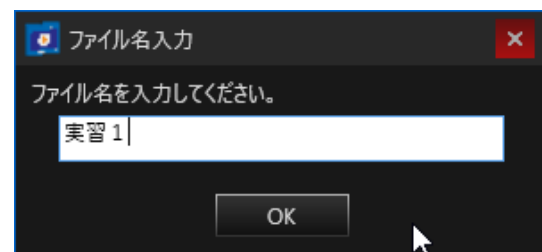
1. 録画を終了する

画面右下の「録画停止」ボタンをタッチします。



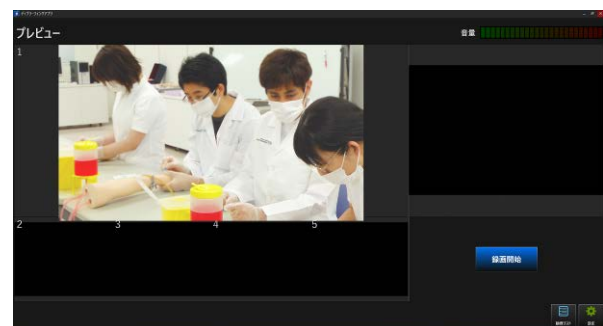
2. ファイル名を入力する

右のようなポップアップが表示されます。
入力欄をタッチすると画面上にキーボードが表示されるので、録画したデータの任意のファイル名を入力し、「OK」をタッチしてください。



3. 保存の完了

保存が完了すると、自動的に録画開始前の録画開始待ち画面に戻ります。



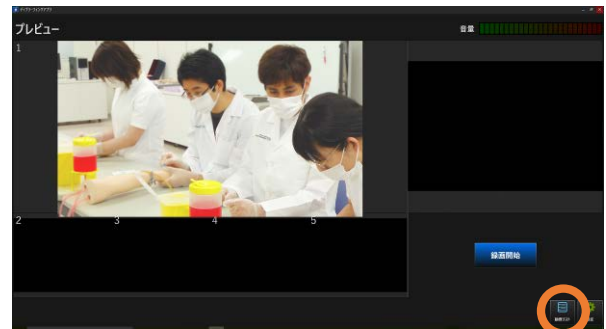
デブリーフィングを行う (デブリーフィング画面を表示する)

デブリーフィング画面を表示する

1. 動画リストを開く

録画開始待ち画面の右下「動画リスト」ボタンをタッチし、動画リストを開きます。

※動画リストに動画が表示されない場合は、下部にある検索条件を設定し、検索ボタンをタッチしてください。



2. デブリーフィングする動画を選択する

リスト内からデブリーフィングしたい動画をタッチして選択し、「詳細表示」ボタンをタッチします。



3. デブリーフィングの開始

デブリーフィング画面が表示されたら、画面左下の「▶」ボタン(再生ボタン)をタッチしてください。デブリーフィングを開始します。



デブリーフィングを行う (デブリーフィング画面の説明)

デブリーフィング画面



(A) 映像再生画面(カメラ別)

- 動画を全画面表示する：
任意の動画を一回タッチします。
- 拡大映像の切り替え：
2~5の枠に表示されている映像のうち拡大したいものをタッチすると1枠のものと入れ替わります。

(B) 行動タイムライン

- 記録したタイミングがタイムライン形式でリスト表示され、映像の再生に合わせて自動でスクロールします。
- メモの追加や、記録した任意のタイミングから動画を再生することができます
(メモの追加 >P.12)
(任意のタイミングからの再生 >P.13)

(C) タイミング追加ボタン

デブリーフィング中にポイントとなる行動を映像中に見つけた場合、タイムラインにタイミングを追加することができます。

(D) 再生ボタン

(E) 一次停止ボタン

(F) 最初から再生ボタン

(G) 音量調節

タッチすることで調節が可能です。

(H) 現在の経過時間/総録画時間

バーの●を動かして動画を任意の位置から再生できます。

(I) 録画開始待ち画面へ

ポイント

- 撮影した複数の動画と記録したタイミングは同時再生されるため、多視点からどのタイミングにポイントとなる行動をしたかを把握できます。

デブリーフィングを行う (タイムラインにメモを追加する)

タイムラインにメモを追加する

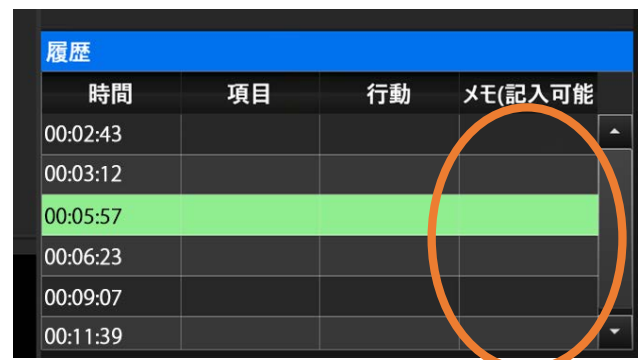
タイムラインに表示されるタイミング一覧では、ボタンを押した時間のみが表示されています。デブリーフィング画面ではそれぞれのタイミングにはメモを記入することができるので、行動内容を書き込むことでより詳細に記録することができます。

1. タイムライン上の任意のタイミングを選択する

任意のタイミングのメモ欄を2回タッチします。

2. メモの入力

画面上にキーボードが立ち上がるので、タッチ操作でメモを記入してください。



履歴	時間	項目	行動	メモ(記入可能)
00:02:43				
00:03:12				
00:05:57				
00:06:23				
00:09:07				
00:11:39				

デブリーフィングを行う (任意のタイミングから再生する)

任意のタイミングから動画を再生する

“ふりかえ朗”では、実習中に記録した任意のタイミングからの動画再生が可能です。

タイムライン上の任意のタイミングをタッチする

タッチしたタイミングの5秒前まで動画がスキップします。

デブリーフィング

1



2



3



4



5



履歴			
時間	項目	行動	メモ(記入可能)
00:02:43			
00:03:12			
00:05:57			
00:06:23			
00:09:07			
00:11:39			

00:05:52 00:12:05

タッチしたタイミングの5秒前まで動画を再生します。

タッチしたタイミングの5秒前までさかのぼって
動画が再生されます。

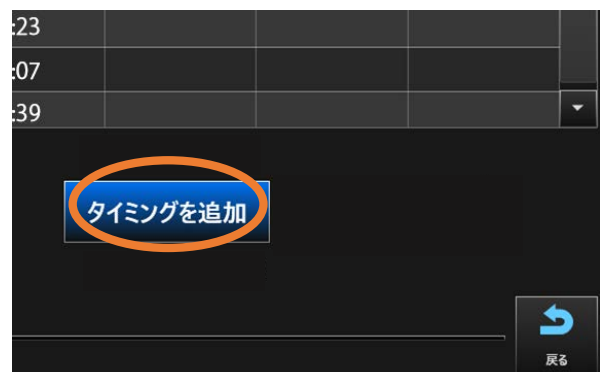
デブリーフィングを行う (タイムラインにタイミングを追加する)

タイミングの追加

デブリーフィング中に新たに記録したいタイミングがある場合、デブリーフィング中にもタイミングを追加することができます。

タイミングを追加する

デブリーフィング画面右下の「タイミングの追加」をタッチします。



追加の確認

タイミングが追加されると、録画時同様、ボタン上に「記録しました」と表示され、記録数カウント表示も1増加します。

また、タイムラインにもタイミングが即時追加されます。



デブリーフィングを行う (デブリーフィングを終了する)

デブリーフィングの終了

「戻る」ボタンをタッチする

デブリーフィングを終了するには、画面右下の

「戻る」ボタンをタッチします。

終了後は、録画開始待ち画面に戻ります。



追加機能 1

(モニター付属製品連携)

モニター表示映像を “ふりかえ朗”と共有する

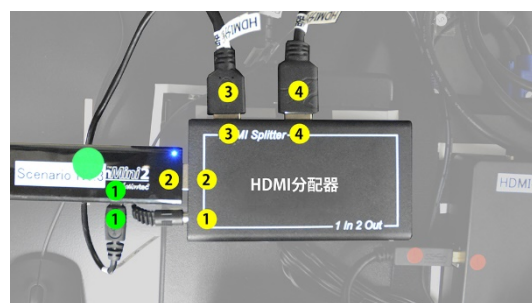
シミュレータとのモニター映像共有

“ふりかえ朗”では、イチローIIA や評価型気道管理シミュレータ、評価型外科縫合シミュレータ等のモニターが付属しているシミュレータと合わせて使用する際、モニターの映像を“ふりかえ朗”側にも表示・保存することができます。

■注意■ 下記の作業は必ず“ふりかえ朗”の電源を切った状態で行ってください。

コードの接続を確認する

映像記録用パソコンなどが置いてあるテーブルに、右図のような HDMI 分配器があります。右図のようなコード配置になっていることを確認してください。(SCENARIO/Konoha と連動していない場合、黄色②は刺さっていませんが下記の通り進めてください。)



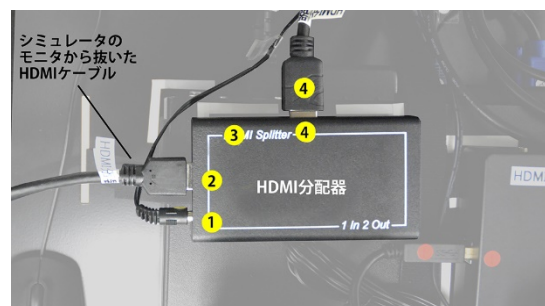
■“ふりかえ朗”にモニター映像を映し、

シミュレータ側のモニターには映さない場合

■黄色②の機器、黄色③のコードをHDMI 分配器から抜きます。

■シミュレータのモニターに接続されているHDMI ケーブルをモニターから抜き、その接続端子を HDMI 分配器の黄色②に差し込みます。

■“ふりかえ朗”を起動し、モニター映像が映ることを確認してください。



■ “ふりかえ朗”にもシミュレータにも

同じ映像を映したい場合

1. 黄色②の機器を HDMI 分配器から抜きます。
2. シミュレータのモニターに接続されている HDMI ケーブルをモニターから抜き、その接続端子を HDMI 分配器の黄色②に差し込みます。
3. HDMI 分配器に接続されていない方の黄色③の HDMI ケーブルの端子を、シミュレータのモニターに接続します。
4. “ふりかえ朗”を起動し、モニター映像が映ることを確認してください。



追加機能 2

(SCENARIO,Konoha 連携)

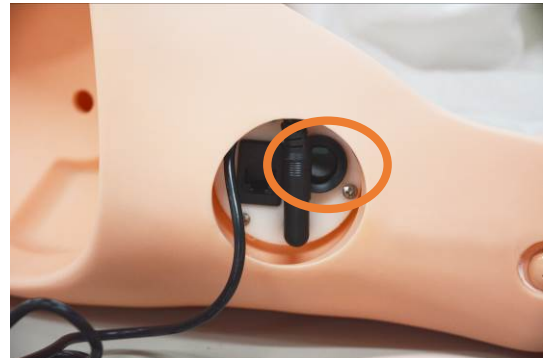
SCENARIO, Konoha 連携時の 起動手順

SCENARIO, Konoha 連動時の起動

“ふりかえ郎”をSCENARIO もしくはKonoha と連動させて使用する場合、下記の順番で起動する必要があります。

1. SCENARIO/Konoha の モデル本体の電源をONにする

モデルが電源に接続されているのを確認し、モデル腰部横にあるモデル本体電源をONにします。



2. SCENARIO/Konoha の タブレットの電源をONにする

SCENARIO/Konoha の操作タブレットの電源をONにし、シミュレータがたちあがるまで1分程度待ちます。

3. “ふりかえ郎”の電源をONにする。

“ふりかえ郎”が電源に接続されていることを確認し、“ふりかえ郎”の電源をONにします。

(“ふりかえ郎”を起動する >>P.6)



追加機能 2

(SCENARIO,Konoha 連携)

録画する (開始～終了まで)

録画の開始と終了

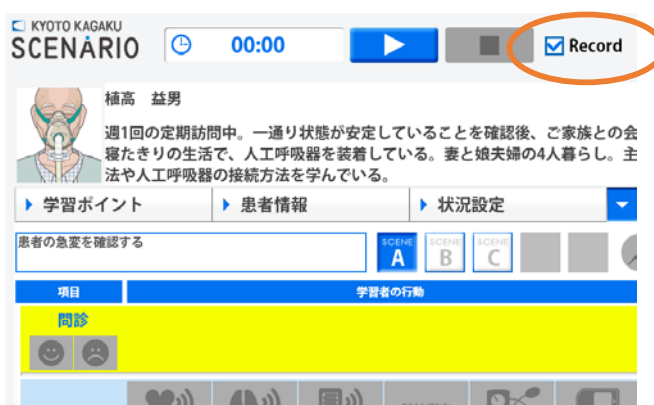
“ふりかえ朗”はシミュレータ(SCENARIO, Konoha)と連携している場合、録画の開始をシミュレータのタブレットから無線操作することができます。

■注意■ 録画を開始する前に必ず、“ふりかえ朗”を録画開始待ち画面にしてください。

1. シミュレータ側の操作

シミュレータのタブレットでシミュレーションを行うシナリオを選択し、シナリオシミュレーション開始ボタン隣の「Record」チェックボックスをタッチしてチェックが入っていることを確認します。

※デフォルトでチェックが入っていますが、確認してから次の操作に進んでください。

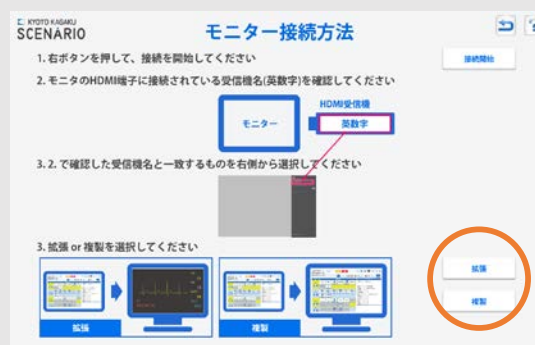


2.“ふりかえ朗”に反映されているか確認する

録画したい画面（Scenario のタブレット画面、もしくは専用生体情報モニタ画面）が、“ふりかえ朗”の右上部分にプレビューとして表示されているか確認します。

“ふりかえ朗”にプレビュー表示されないときは

- 1) タブレットのモニタ表示設定ボタンをタッチします
- 2) タブレット操作画面を録画したい場合は「複製」、専用生体情報モニタ画面を録画したい場合は「拡張」を選択します。



→「拡張」を選択しても“ふりかえ朗”に生体モニタが表示されない方のみ(3)へ

追加機能 2

(SCENARIO, Konoha 連携)

録画する (開始～終了まで)

- 3) タブレットの「患者情報」ボタンを
タッチします



- 4) 虫メガネボタンをタッチします。
これで、「ふりかえ郎」に生体モニタ
が表示されます。



2. シミュレーションを開始する

タブレットのシナリオシミュレーションボタンをタッチすると、シミュレータが動作すると同時に
“ふりかえ郎”も録画を開始します。

3. シミュレーションを終了する

従来同様、終了ボタンをタッチしシミュレーションを終了します。

■すぐデブリーフィングする場合：

「大型モニタでデブリーフィングを開始します」と表示されたら「はい」をタッチします

■後からデブリーフィングする場合：

「大型モニタでデブリーフィングを開始します」と表示されたら「いいえ」をタッチします

追加機能 2

(SCENARIO, Konoha 連携)

デブリーフィングを行う (画面の説明)

デブリーフィング画面

SCENARIO, Konoha と連携している場合のデブリーフィング画面です。

(後からデブリーフィングを開始する場合 >P.10)

デブリーフィング

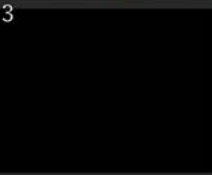
1



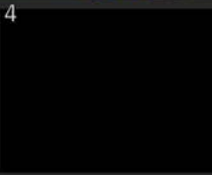
2



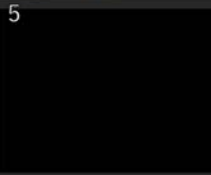
3



4



5



A



B

時間	項目	行動	メモ(記入可能)
00:00:11	問診	意識確認	
00:00:14	観察	体温測定	
00:00:16	観察	浮腫	
00:00:19	アセスメント	死期の判断	
00:00:21	対応	報告	
00:00:23	観察	脈拍測定	

C

タイミングを追加 チェックリスト表

記録数カウント : 10

00:00:16 / 00:01:06

下記以外の部分は標準機能でデブリーフィングを行う場合と同じです。(>P. 11 参照)

(A) 専用生体情報モニタ画面

シミュレータ付属の専用生体モニターの映像を再生します。
撮影された動画と同期して再生することができるため、学習者の行動をバイタルの変化と合わせ観察できます。

(B) タイムライン

SCENARIO, Konoha の機能で記録した行動記録が“ふりかえ朗”にも記録されます。
上図のように、標準機能とは異なり、すでにどういった行動がとられたかが記載してあります。

(C) モ機能も標準機能同様に使用可能です。

(C) チェックリスト表

SCENARIO, Konoha のデブリーフィング機能である学習目標の到達度チェックリストを“ふりかえ朗”で開くことができます。また、チェックリストの編集も“ふりかえ朗”で行うことができます。

(チェックリストの確認・編集 >P21)

追加機能 2

(SCENARIO,Konoha 連携)

デブリーフィングを行う (チェックリストを確認/編集する)

チェックリストの確認

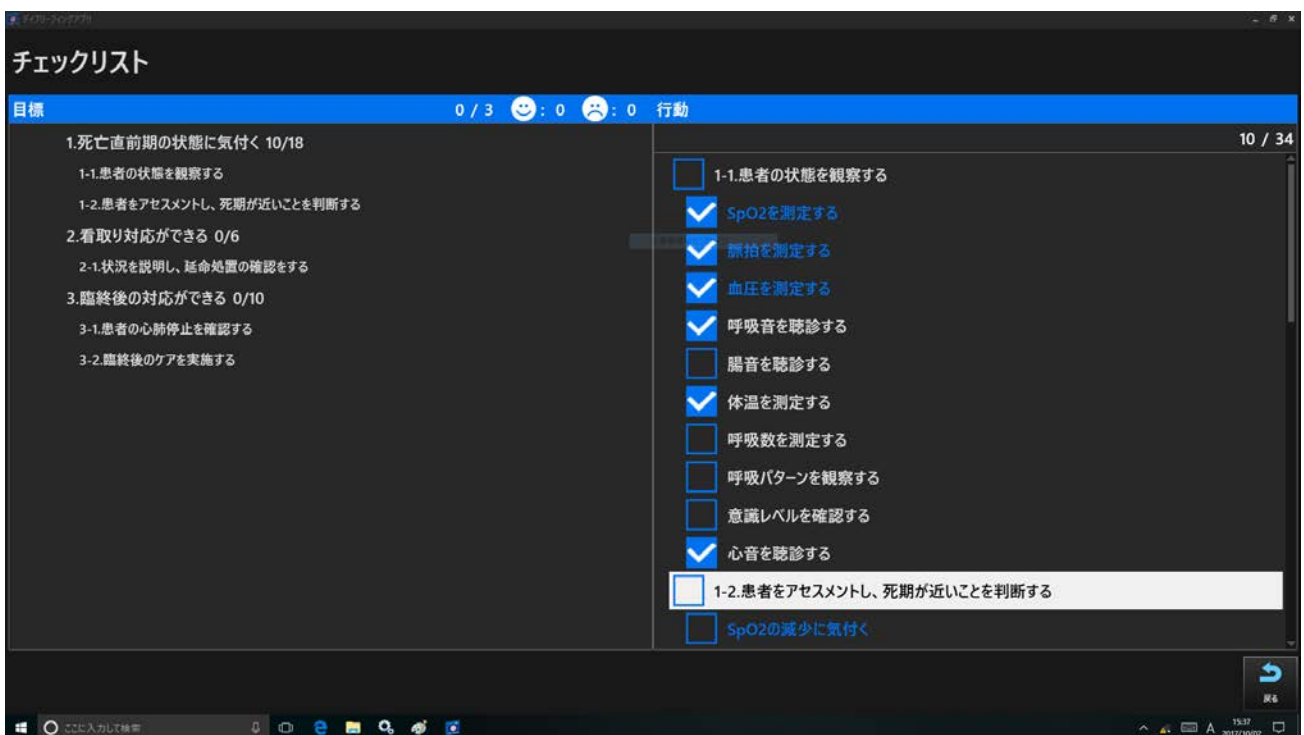
SCENARIO/Konoha のデブリーフィング機能の1つであるチェックリストについて、“ふりかえ朗”で確認・編集することができます。“ふりかえ朗”で編集されたチェックリストは、SCENARIO/Konoha にも共有され、同じ情報が保存されます。

チェックリストを開く

デブリーフィング画面の右下にある「チェックリスト表」をタッチします。

下のようなチェックリストが全画面で表示され、実習時にクリアした項目を確認することができます。

また、チェックボックスをタッチすることで、チェックを付けたり外したりすることが可能です。重要な行動は青字で示されています。



※チェックリストの操作については、SCENARIO/Konoha を単独で使用する場合と全く同じです。

追加機能 2

(SCENARIO,Konoha 連携)

デブリーフィングを行う (デブリーフィングの終了)

デブリーフィングの終了

SCENARIO/Konoha を使用した“ふりかえ朗”でのデブリーフィングの終了は、SCENARIO/Konoha のタブレットから操作します。

1. タブレット画面からの操作

タブレット画面の右上に表示されている「デブリーフィング終了」をタッチします。



2. 名前をつけて保存する

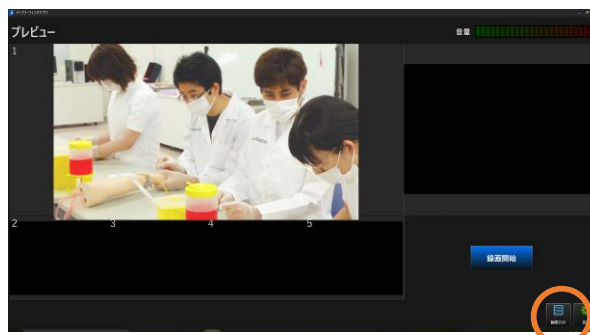
保存ポップアップが表示されたら、任意の名前を記入して「保存」ボタンをタッチしてください。シミュレータ側と“ふりかえ朗”側の両方に保存されます。

※このとき、何も記入しないで「OK」をタッチすると、「日付+時間」がファイル名として自動的に保存されます。

動画リストの見方

動画リストを表示する

録画開始待ち画面右下の「動画リスト」ボタンをタッチします。



動画リスト画面説明

動画リスト

ファイル名	日付	シナリオ名	動画時間	サムネイル
〇〇実習	2017/07/26	腹痛症状を訴える患者への対応	00:10:17	
××実習 グループA	2017/07/25	アナフィラキシーショック症状への初期対応	00:05:49	
××実習 グループB	2017/07/25	アナフィラキシーショック症状への初期対応	00:06:11	
××実習 グループC	2017/07/25	アナフィラキシーショック症状への初期対応	00:08:38	
〇〇実習	2017/07/11	人工呼吸器下のアラーム対応1	00:04:03	
△△実習	2017/06/29	嚥下障害をもつ患者への対応		

検索条件: ☒ 日付指定 開始日付 2017/06/26 ~ 終了日付 2017/07/26 検索

右側メニュー: 詳細表示, 削除, エクスポート, インポート

右下ボタン: 戻る

(A) 保存動画一覧

新しい順に今まで記録した動画が表示されています。

(B) 動画検索

録画した日時を入力し、検索ボタンをタッチしてください。

(C) デブリーフィング画面へ

(D) 動画の削除

(E) エクスポート

USB 等の外部機器にエクスポートします。

(F) インポート

USB 等の外部機器にインポートします。

(G) 録画開始待ち画面へ

動画のインポートとエクスポート

記録されたデータは他の“ふりかえ朗”へ移行することができ、複数の“ふりかえ朗”でデブリーフィングすることができます。

(※別途 USB をご準備ください。)

USB を接続する

USB をパソコンの USB 端子に差し込みます。

※インポートの場合は、他の“ふりかえ朗”からエクスポートしたデータを入れた USB を用意してください。



■インポートする場合

- 1) 動画リスト右の「インポート」をタッチ
- 2) 先ほど接続した USB を選択
- 3) インポートしたい動画データを選択
- 4) 動画のインポート開始

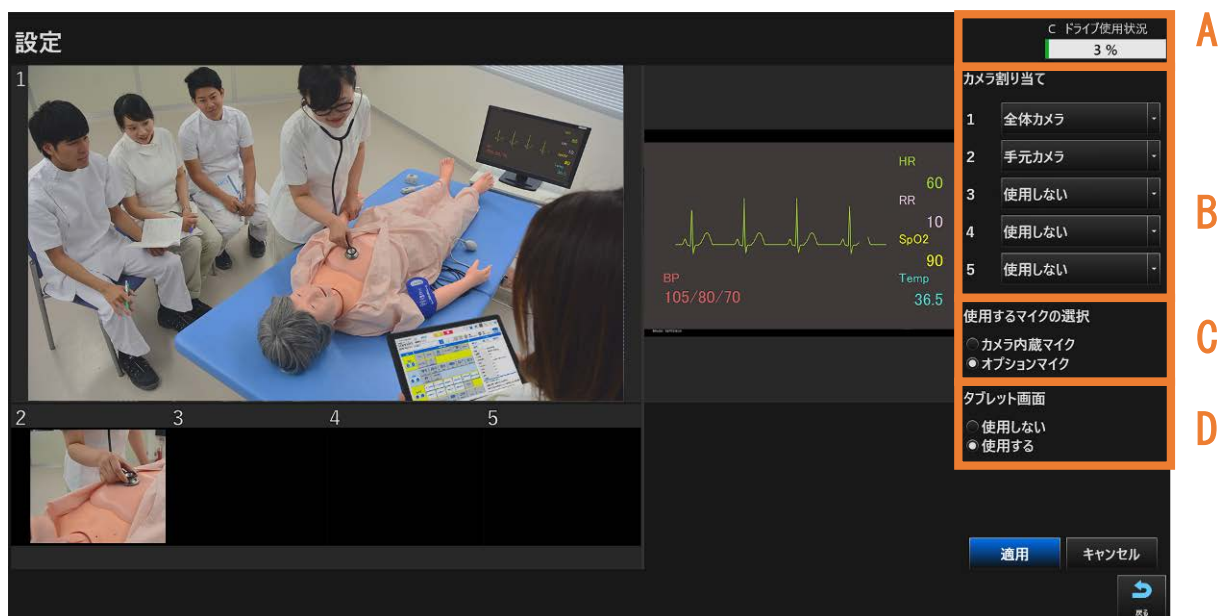


■エクスポートする場合

- 1) エクスポートしたい動画を選択
- 2) 動画リスト右の「エクスポート」をタッチ
- 3) エクスポート先として接続した USB を選択
- 4) 「動画ファイルを WMV 変換しますか？」というメッセージが出るので、
 - お手持ちのパソコンで見る場合
→ 「はい」を選択
 - 他の“ふりかえ朗”にインポートする場合
→ 「いいえ」を選択
- 5) 動画のエクスポート開始



機器の設定とデータ量の確認



(A) 保存データ量の確認

設定画面右上に表示されている「Cドライブ使用状況」で、保存データ量の確認ができます。
約 1000 回以上のシミュレーションを記録(※)できますが、万が一容量が不足した場合は、市販の外付けハードディスクを接続することで保存容量を増やすことができます。
(保存容量が不足した場合>P.28)

※1 回 10 分の場合

(B) カメラの設定

最大 5 台まで、カメラの接続が可能です。
接続しているカメラの映像は、録画開始待ち画面や録画面で表示されている 1～5 の枠に割り当てることができます。
※ 2～5 の映像は画面上では縮小表示されていますが、保存される映像は高画質のものです。
※ カメラは購入時では付属の 2 台のみ接続設定がされています。3 台目以降のカメラを接続したい場合はお問い合わせください。

(C) マイクの設定

使用するマイクを選択することができます。
各カメラに内蔵されているマイク、もしくはオプションの可動式マイクが選択できます。

(D) タブレット画面の設定

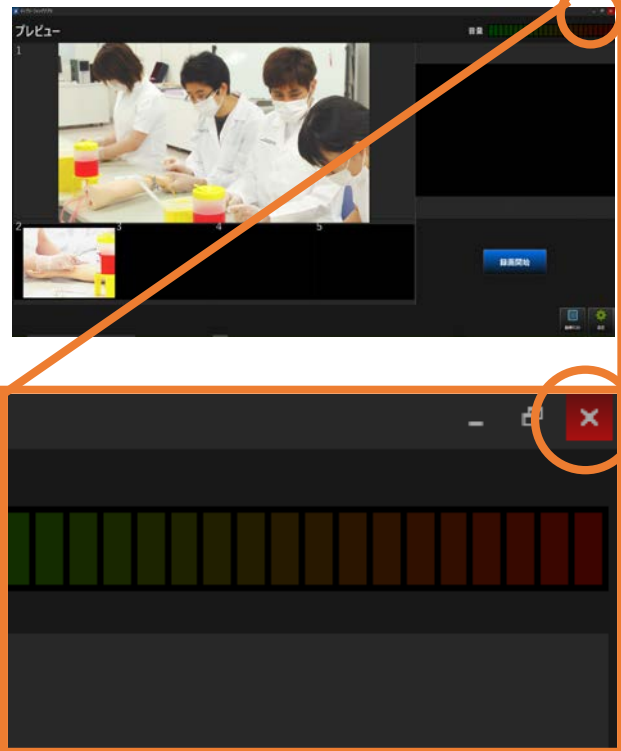
SCENARIO や Konoha、モニタのあるシミュレータを使用する際に、モニタを共有するか選択できます。

Skills Album の終了

1. 画面右上の「×」をタッチする

タッチすると“ふりかえ朗”を終了する旨のポップアップが表示されます。

「OK」をタッチすると、ソフトが終了し、自動的に電源が OFF になります。



SCENARIO・Konoha と“ふりかえ郎”の接続が途切れている場合、シミュレータの操作タブレットに右図のようなポップアップが表示されます。



■“ふりかえ郎”での録画なしでシミュレーションを行う場合

上記のポップアップの「はい」のボタンをタッチすることで、“ふりかえ郎”を使用せずにシミュレーションを開始することができます。

■“ふりかえ郎”との再接続を行う場合

下記を確認し、再接続されるかをお試してください。

- 1.“ふりかえ郎”の電源がついているか確認してください。（電源をつける >P.6）
- 2.“ふりかえ郎”を再起動します。（“ふりかえ郎”を終了する >P.25）

上記でも解決しない場合は、（株）京都科学までお問い合わせください。

■カメラが動作していない

“ふりかえ郎”のカメラが動作していない場合は、以下のような状態になります。

○“ふりかえ郎”起動時から動作していない場合：

映像枠に待機中を示す丸いマークが表示されます。

○“ふりかえ郎”使用途中にカメラとの接続が切れた場合：

接続が切断されたカメラの映像枠の数字が赤く表示されます。

【対処法】

1. カメラに接続されているコード類を一度抜き、再度差し直します。
2. しっかり接続されていることを確認し、約1分お待ちください。
3. カメラが動作しているか再度確認してください。

上記でもカメラが復旧しない場合は、(株) 京都科学までお問い合わせください。

■マイクが動作していない

録画開始待ち画面右上の音量バーが動いていない場合、“ふりかえ郎”のマイクが動作していない可能性があります。

【対処法】

1. マイクに接続されているコード類を一度抜き、もう一度差し直します。
2. “ふりかえ郎”に「どのデバイスをプラグインしましたか？」というポップアップが出ます。そのまま「OK」をタッチします。
3. マイクが動作しているか再度確認してください。

上記でも解決しない場合は、(株) 京都科学までお問い合わせください。

“ふりかえ朗”の映像記録用 PC の保存容量が、残量 20%以下になると、ソフト起動時に右図のようなポップアップが表示されます。状況に応じて、保存先を選択してください。



■新しい記録用ハードディスクを接続する（推奨）

外付けハードディスクをご用意いただき、“ふりかえ朗”に接続する方法です。

1. 用意した外付けハードディスクを右のように“ふりかえ朗”のUSB 接続口に差し込みます。
2. データ保存先の選択肢に外付けハードディスクが追加されるので、タッチして選択してください。
3. “ふりかえ朗”を起動します。



※保存先を外付けハードディスクにした場合、動画リスト画面では、“ふりかえ朗”の映像記録用 PC と外付けハードディスクの両方の動画がまとめて表示されます。

■引き続き“ふりかえ朗”映像記録用PCに保存する （保存可能な残容量が十分あると判断できる場合のみ）

ポップアップの中から「OS(C:)」を選択してください。引き続き、“ふりかえ朗”映像記録用 PC に保存が可能です。

はじめにマウスを使って操作できるかを確認してください。

マウスを使って操作できる場合は大型モニタに設置しているタッチモニタ化機器（p.3 構成品番号b）のキャリブレーション（再調整）を行います。

マウスを使っても操作ができない場合はお買い上げの販売店もしくは株式会社京都科学（Tel.075-605-2510 または 03-3817-8071）までご連絡ください。

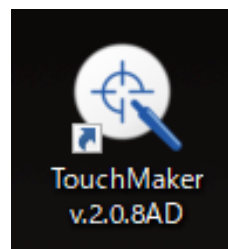
1. ふりかえ郎のソフトを縮小

ふりかえ郎の右上にある「□」のボタンをマウスでクリックする



2. タッチモニタ調整

トップ画面にある「TouchMaker」をマウスでダブルクリックしてください。



3. 言語選択

マウスで「日本語」をクリックしてください。

言語
言語を選択してください



4. メニュー選択

マウスで **46～55 インチ** をクリックしてください。

メニュー
選択してください

46～55インチ

56～80インチ

5. キャリブレーション(校正)の選択

マウスで **調整 (25 点)** をクリックしてください。

キャリブレーション(校正)
選択してください

調整 (25点)

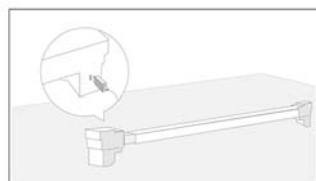
簡易調整 (7点)

6. ハードウェアのインストール

再調整の手順ではスキップを選択します。

マウスで **スキップ** をクリックしてください。

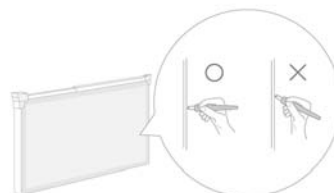
下記手順に従い、ハードウェアをインストールしてください。
(1) USBケーブルを差し込みます。



スキップ

7. キャリブレーションの開始

マウスでキャリブレーションを開始をクリックしてください。



キャリブレーションを開始

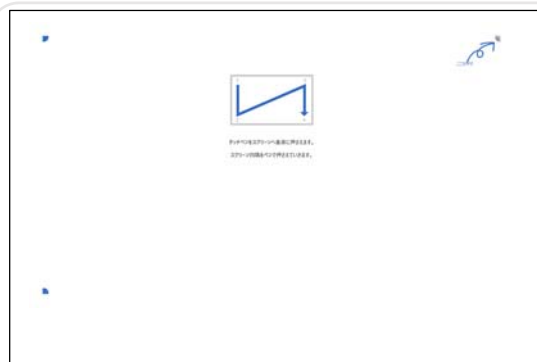
8. キャリブレーション ステップ1

タッチスクリーン範囲を定めます。
画面の表示にしたがってスクリーンの隅
に表示される印をタッチペンで押さえて
いきます。



ステップ1

タッチスクリーン範囲を定める (4箇所)



9. キャリブレーション ステップ2

スクリーンにグレーポイントが順番に表示されます。グレーポイントを表示にしたがってタッチペンで押さえていきます。

(25箇所) グレーポイントがブルーに色が変わるまで押さえます。



10. キャリブレーション完了

タッチペンで **OK** をタッチしてください。

ふりかえ朗をタッチペンで操作して、正しくタッチできるようになったことを確認してください。





KYOTO KAGAKU co.,LTD
http: //www.kyotokagaku.com e-mail: rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL:075-605-2510 (直通)
FAX:075-605-2519

■東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL:03-3817-8071 (直通)
FAX:03-3817-8075